

例会報告  
第333回 「SGCセスナ機搭乗体験」  
佐賀市 (2023.12.23)

前日までは強い寒気が九州を覆い、佐賀でも積雪したために、搭乗体験ができるかどうか心配でしたが、当日は曇り空ではありましたが、風も弱く、穏やかな天気となりました。

はじめに、佐賀航空の仕事内容について説明をいただきました。消防防災ヘリやドクターヘリの運用・整備を行っているほか、航空操縦学専攻の大学の操縦訓練の指導も行っているそうです。説明していただいた方は、主に操縦訓練の教官をされていて、航空自衛隊F15戦闘機のパイロットで、ブルーインパルスにも所属していたという、すごい経歴の持ち主でした。

いよいよフライトです。子供といえど、搭乗前には金属探知機を使ってボディチェックを受けました。もちろん全員クリアしました。小さな子供たちはセスナ機に乗るまで緊張と不安でドキドキではなかったでしょうか。機内での様子やセスナ機からの眺めは、実際に搭乗した団員さんに撮影をお願いしました。次のページをご覧ください。

搭乗体験の待ち時間には、整備士の方から格納庫内に保管されている機体の説明をしていただきました。その日は車で言う「車検」のような点検作業の途中で、エンジンの回りがはっきりと見えました。セスナ機のエンジンは、車のエンジンと違って横向きに配列されていました。また、上空の寒気で凍結することがないように機構が組み込まれていました。また、整備士さんも機種によって資格を取得しなければならず、ヘリコプターやセスナ機など格納庫の中全部の機体を整備するためには多くの資格が必要だそうです。

体験を終えたセスナ機が帰ってきました。佐賀空港を出て右旋回し、佐賀市内の上空を県庁付近で折り返して戻ってきたようです。空港横に建設中のオスプレイ配備の駐屯地、有明海には最盛期のノリ養殖漁場がよく見えたようです。セスナ機を降りた子供たちはとても満足した様子でおうちの方へ感想を言っていました。今回の体験でパイロットの仕事に興味を抱いた子どもたちもいるのではと思います。ぜひこれからいろいろなことに挑戦してパイロットを目指してほしいものです。毎年（今年で6年目）貴重な体験をさせていただいた佐賀航空の皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

(参加者 23 人)





格納庫内の見学



エンジン周辺についての説明



コックピットに乗ったよ



ヘリが飛ぶしくみ、旋回する方法を聞く



セスナ機からの眺め



機長さんの前には計器がいっぱい



東与賀小、中学校上空



城内周辺